

大谷小中学校だより

NO.11
令和8年 2月27日
珠洲市立大谷小中学校

自分を見つめるということ

校長 鎌田 香

暖かい陽射しに「春が近づいてきたな」とほっとしたと思うと、次の日には北風が吹き荒れ、雪まじりの天候となり「まだまだ春は遠いのかな」とがっかりします。早春賦という歌の歌詞「氷融け去り 筆は角ぐむ さては時ぞと 思うあやにく 今日もきのうも 雪の空 今日もきのうも 雪の空」という情景がびったりだと感じます。吉丸一昌さんが、大正時代に作詞した歌ですが、日本人の季節のうつろいに対する繊細な感情をあらためて思い知らされます。

さて、今回は、連日メダルラッシュに沸く、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックの話題を取り上げたいと思います。日本選手団はメダル獲得数が史上最多を更新しています。素晴らしいですね。しかし、その陰でメダルを獲得できなかった選手もいます。冬季オリンピックに出場しているすべての選手が金メダルを目指して努力を積み重ねてきたのですから、メダルを獲得できなかった選手を見て胸が痛みます。しかし、メダルを逃し、自分自身が絶望のどん底にいるはずの選手が金メダルを獲得した選手のもとへ歩み寄り、がちりとハグを交わし言葉を交わす場面があります。栄光の影にある悔しさ、そしてその悔しさを乗り越えて示される優しさ。それらすべてを含めて、スポーツは本当に素晴らしいと改めて実感しました。

フィギュアスケートペアで出場した日本の木原龍一選手と三浦璃来選手は金メダルに輝きました。しかし、ショートプログラムで失敗し、5位となったとき、木原選手は「昨日終わった時点で全部終わっちゃったなと思っていた」と胸の内を吐露したそうです。それでも木原選手は、コーチの「野球だと9回3アウト取られるまで試合は終わらない。だからこの試合もSPではまだ終わっていない。」という言葉。そして、「自分たちがやってきた確かなものがあるから、あきらめない話をみんなでした。最初は心が折れていたのですが、みんなが僕の心をもう1度立ち直らせてくれた」と語ったそうです。「あきらめない」と一言でいいますが、これまでやってきた練習の積み重ねと仲間の支えがあってこそだと思いました。改めて、大切なことを教えられた気がしました。また、自分自身をしっかりと見つめて、鍛えていきたいと思いました。

さて、2月12日(木)には、4回目になる「自画像教室」を行いました。福井崇人先生と青山きえ先生をお招きし、じっくりと自分を見つめる時間を過ごしました。顔を洗うとき、髪型を整えるとき、鏡に映して自分の顔を見ているようで、向き合ってみると「あれ?」と思うことがいくつもあります。さらに、画材も鉛筆・木炭・サインペン・筆ペンと様々で、どれを選ぶか、いつも迷ってしまいます。4回目ともなると、生徒の皆さんは、戸惑いもなく、むしろ楽しんで自画像を描いていました。描き終わったあと、1回目から4回目の自画像を並べてみると、その違いが歴然としていて、思わずみんなで笑ってしまいました。福井先生からは、「みんなとても上手になった。」とほめていただきました。そして「みんな、自信がついてきたね。」と言われました。とても有意義な時間となりました。



今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

■ 学校評価における自己評価より

12月に行った学校評価アンケートを基に2学期の教育活動の自己評価を行い、2月16日(月)の「第3回学校関係者評価委員会」でご意見をいただきました。

成果

○保護者アンケートにおける「お子さんは、授業が『楽しい』と感じている。」の肯定的回答の割合が増加しました。授業において実生活に関わった課題を提示し取り組ませることの効果が出た結果だと考えています。継続していきたいと思います。

○保護者アンケートで「お子さんは、家族や町の人に自分から元気よくあいさつしている。」への肯定的回答が7月と比べ25%増加しました。オンライン授業や交流授業を行い、色々な人と関わる機会を設けたことで、挨拶する機会が増えたことが1つの要因として考えられます。

保護者アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
2	お子さんは、授業が『楽しい』と感じている。	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	75.0%	50.0%

課題1 授業中の姿勢について

児童生徒アンケートの「授業中に『聞き方名人』を意識できましたか。(特に他者の意見を認めたり反応したりすること)」の肯定的回答が減少しています。教員の声掛けや働きかけが少ないことで児童生徒の意識が低下したためと考えられます。朝礼や授業開始時に声掛けを行っていきます。

保護者アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
4	お子さんは、家族や町の人に自分から元気よくあいさつしている。	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	50.0%

児童生徒アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
8	先生、友達や町の人に、自分から元気よくあいさつをしている。	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	50.0%

児童生徒アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
4	授業中はよい姿勢を心がけることができましたか。(グー・ビタ・ピン)	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	50.0%

特に、オンライン授業の際は「聞き方名人」を意識できるように声掛けを行います。

→ 「できているかどうか」の判断基準が難しい。具体的にしていけないと評価が上がらないのでは?

課題2 活字離れについて

保護者アンケートの「お子さんは、家で読書をしている。」、教員アンケートの「児童生徒が読書指導をしている。」の肯定的回答の割合が減少している。ホリデー読書の取り組みを行いました。生徒に浸透しておらず、さらに声かけをしていきたいです。生徒は、読書をするメリットや楽しさはわかっているのですが、ゲームやSNSに時間を費やしてしまいがちです。家庭での時間の使い方を生徒が考える機会を作り、生活のルーティーンの一部となるように指導していきます。

保護者アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
4	お子さんは、家で読書をしている。	25%	0%	50%	25%	25.0%	50.0%

児童生徒アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
⑦	児童生徒の読書指導をしている。	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	71.4%	85.7%

→ 以前からそうだが、スマホを持たせると読書が減る。活字から離れてしまう。児童生徒が同じ本を期限を決めて

読み、それについてディスカッションを行うという手法もある。

課題3 地域の学習について

児童生徒アンケートにおいて、「地域の人・もの・ことから学ぶことができる」などの項目は、一定の肯定的評価を得ています。地域学習や交流活動を通して、ふるさとに関心を持ち、地域の一員として自分たちにできることを考える姿が見られます。一方で、保護者アンケートにおける「学校は、ふるさと大谷を大切にする学習に積極的に取り組んでいる」や、学校からの情報発信に関する項目では、肯定的評価が十分に得られていません。学校としては取組を進め、様子も伝えているのですが、そのねらいや成果が十分に伝わっていない可能性があります。今後は、地域学習のねらいや児童生徒の学びの成果が分かるよう発信を工夫していきます。また、学校評価アンケートに理由や意見を記述する項目を設け、保護者の受け止めを具体的に把握し、取組の改善につなげていきます。

児童生徒アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
15	伝承クラブや地域の人・もの・ことからいろいろなることを学ぶことができる。	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	75.0%	75.0%

保護者アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
13	学校は、ふるさとを大切にする学習に積極的に取り組んでいる。	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%

教職員アンケート		A	B	C	D	(A+B)/計	7月
⑩	地域資源や地域の方々を生かした学習に積極的に取り組んでいる。	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%

→ さらに「地域とのつながり」を意識した活動を行ってほしい。

■ 人の輪 1月29日(木)

今年度最後の「人の輪」を行いました。今回は、『はあって言うゲーム』をしました。これは、与えられた「はあ」「えー」といった短い一言を、声と表情だけで表現し、それがどんなシチュエーション（怒り、呆れ、感心など）かを当てるゲームです。身振り手振りは禁止で、演技力と推察力が試されるゲームとあって、大いに盛り上がりました。



参加した地域の方々からは「みんなで笑いあえて、楽しかった。」「人と人のつながりができるので、とても良かった。」「受け取り方は人それぞれということが改めてわかりました。」という感想をいただきました。

■ 豆つまみ大会 2月3日(火)

2月3日は節分です。各地では「鬼は外、福は内」豆まきが行われますね。大谷小中学校では、豆つまみ大会を行いました。「正しい箸の持ち方をする」と「きれいな食事の所作を身につける」ことを目的に行いました。まず、正しい箸の持ち方について確認し、練習をしました。その後、30秒でいくつ豆をつまんで移動することができるかを競いました。優勝したのは、やはり9年生でした。



■ 薬物乱用防止教室 2月4日(水)

能登北部保健福祉センターの方をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。講師の方のお話を真剣に聞き、自分事としてとらえて真剣に学びました。生徒の振り返りには「たばこの副流煙は主流煙の何倍かなど、体に及ぼす影響について細かいところまで知ることができて良かった。」「普通の市販薬を間違えて使うことも薬物乱用だと知りました。」



「たばこやお酒は体に良くないとわかっているのに吸ったり、飲んだりしてしまうことが怖いと思った。」「この講義をいろんな方々に聞いてほしいと思った。」というものがありません。



■ 全校道徳 2月6日(金)

全校道徳を行いました。進級や進学にともなう新学年への期待も高まる時期であるとともに、少しずつ難しくなっていく勉強など、生徒にとってさまざまな不安を感じやすくなっている時期です。そこで、道徳の授業を通して、自分自身の置かれた環境を見つめ直すとともに、自らの生活を振り返ることで、「心の弱さ」を乗り越え、自己を高めるきっかけになればと思います。授業を行いました。

■ 9年生のライブ 2月12日(木)

給食後に、9年生と音楽の先生とで、ギターとリコーダーによる演奏会を行いました。曲は「キセキ」です。とても素敵な演奏で、アンコールの音が沸き起こりました。



■ オンラインで英語ディベート 2月18日(水)

各教科で行っているオンライン授業ですが、9年生英語の最後のアクティビティは、「ディベート授業」です。この日は、三崎中学校のみなさんと“Which do you like better, traveling in Japan or traveling abroad? “(国内旅行と海外旅行、どちらが好きか?)というテーマで、短時間で自分の意見を作り、オンラインで伝え合い戦わせて、最終的な自分の意見を作り上げるという授業を行いました。オンライン授業では、声の張り具合や表情の豊かさが普段よりも必要となります。社会に出ても、オンラインの会議や研修などがありますので、役に立っていくことでしょう。これからもがんばっていきましょうね。



■ 温かいメッセージありがとうございます！

ご縁があって、本校の大谷チャームを、関西のいくつかの郵便局に設置していただきました。すべて期間中に完売ということでした。ありがとうございます。大阪の枚方郵便局からは、お客様と同郵便局からの心温まるメッセージをいただきました。小さいお子様からのものを含む「直筆のメッセージ」は、読ませていただくととても元気が出てきます。ありがとうございます！



■ QRコードで大谷小中学校のホームページへ！

学校運営協議会でのご意見により、QRコードをスマホで読み取ることで、ホームページに簡単にアクセスできるようにしました。右のQRコードでぜひ本校の様子をタイムリーにご覧ください。



3月 行事予定



今月のいじめの認知件数は0でした。

1	日		11	水	公立高校学力検査等 (社会、数学、面接)	21	土	
2	月	街頭指導 安全点検	12	木	卒業式予行・準備	22	日	
3	火		13	金	第9回大谷小中学校卒業式	23	月	
4	水	朝会	14	土		24	火	終業式・修了式
5	木		15	日		25	水	まなびバー
6	金		16	月	街頭指導	26	木	まなびバー
7	土		17	火		27	金	離任式
8	日		18	水	公立高校合格発表 12:00	28	土	
9	月		19	木		29	日	
10	火	公立高校学力検査等 (国語、理科、英語) 職員会議	20	金	春分の日	30	月	
						31	火	

■ 第9回 卒業証書授与式

- 日時 令和8年3月13日(金)10:00より
- 場所 大谷小中学校体育館

